

平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	道路公園部
部(局)長名	松本 利久

【達成度について】
 A：達成（設定した目標を達成することができた。）
 B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）
 C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 3 過度の車依存からの脱却

全体の達成度
B
 一部達成

目指すべき方向
 公共交通を利用しやすい環境に整え利用促進を図ります。自転車の安全な利用環境を整備することにより、総合的な自転車対策に取り組めます。

活動目標
公共交通機関の乗継ぎにおける情報提供や自転車駐車を確保することにより公共交通の利用環境の改善に努めます。
自転車の安全な利用環境整備のための調査・研究を一層を充実させます。

具体的な取組実績
市内の公共交通の路線情報を掲載した公共交通マップを市内転入窓口及び公共施設等での配布を行うとともに、更新版の作成を進めています。また、自転車駐車が不足している駅周辺で用地の確保に向けて所有者と協議を行っています。
「（仮称）自転車走行環境整備計画」策定に向けた「自転車走行環境整備計画策定準備会議」を2回開催し、自転車安全利用に関する意見交換や情報の共有化を図りました。合わせて、自転車利用に関する市民アンケートを実施しました。



達成目標
利用者の視点に立った公共交通の情報提供、駅周辺における自転車駐車の確保に努めます。
自転車安全利用のための本市における課題等の抽出を行います。

達成状況	達成度
更新版である吹田市公共交通マップ2016を作成し、市内転入窓口及び公共施設等で継続的に配布を行っています。また、自転車駐車用地の所有者より用地提供の意向が示されました。	B 一部達成
市民アンケートの実施により、市民の方々が求める自転車施策や、自転車利用者の自転車に関する意識や問題点等について概ね把握できました。	A 達成

総合評価・総括

自転車駐車が不足している駅周辺で土地所有者の協力により、自転車駐車を確保しましたが、十分ではありません。
 自転車の安全利用については、ハード面では自転車走行空間の整備を求める声が多く、ソフト面ではルール・マナーの向上には学校での安全教育の実施や、周知活動を求める声が多いことが分かりました。今後策定する「（仮称）自転車走行環境整備計画」に反映していくことが重要です。